

株式会社 ファミリーマート 御中

インドネシア共和国
北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム

四半期報告書(2014年8月～10月)



2014年11月

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
海外事業部



1. 事業概要

事業名	北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム
対象国・地域	インドネシア共和国 ジャカルタ州都特別州 北ジャカルタ市
事業期間	2014年5月1日～2015年4月30日
報告期間	2014年8月1日～2014年10月31日
予算	500万円
事業目的	北ジャカルタのスラム街がある貧困地域の小学校において、避難訓練の実施と避難キットの配布を通じて、子どもたちの防災能力向上を図る。

2. 事業進捗概要

8月から10月の第2四半期では、本事業の核となる2つの活動を実施しました。

(1) 避難訓練の実施

対象の20校のうち、前回6月に1校の避難訓練を実施しましたが、今期は10月28日に3校（Kampung Sawah 小学校、Al Rahmah 小学校、Kasih Imanuel 小学校）の合同避難訓練を実施しました。小学校だけでなく、コミュニティのメンバーも合わせて約800名が集まり、大規模な避難訓練となりました。豪雨が続き、周辺の川が氾濫し、5日間に渡って洪水が発生、約30cm～1.5mに水かさが増してしまっただけでなく、コミュニティの学校やコミュニティセンター、モスク、教会などをいくつかの場所を避難ポイントとして、以下のような活動を行いました。活動には、ファミリーマートインドネシア事務所のスタッフの方にもご参加いただき、避難訓練の評価に積極的に関わっていただきました。活動実施地域は、ジャカルタ首都圏でも特に貧しい貧困地域で、毎年雨季になると洪水の被害が出ていましたが、今回の避難訓練を受けて、いつ・どこに避難し、どのように災害に備えていくべきか、住民によく理解されました。

【実施日時】：2014年10月28日（火）8：00～12：30

【実施場所】：ジャカルタ首都圏、カンポン・サワ地区

【参加者】：

- 対象3校の小学生と教師
- コミュニティリーダー、コミュニティ住民
- 警察、消防
- 医療チームジャカルタ特別州災害対策局(BPBD) など

【活動内容】

- 早期警告システムの発動
- 一時避難場所への避難
- けが人の救助
- 応急処置
- けが人の病院への照会
- 避難者の確認とデータ収集
- 心理社会的ケア（こころのケア）など

(2) 避難キットの配布

今回避難訓練を実施した3校に対して、災害が起こった時に避難を促す手動式サイレン（電源が不要のもの）、避難標識（避難場所を案内するサイン）、ファースト・エイド・キット（応

急処置キット)を配布しました。

今後は12月までの間に、対象校のうち残り16校における避難訓練を実施し、避難キット(避難所サインボード、早期警告手動サイレン、消火器など)も各学校へ配布する予定です。

3. 活動写真



↑学校の中へ避難する子どもたち



↑サイレンを聞いて住民も避難



↑大雨の中けが人を救助



↑救助した人を避難所へ運ぶ



↑医療スタッフから応急処置の実演



↑子どもたち同士でも練習



↑ 心理社会的ケアの活動の様子



↑ 活動に参加した子どもたちと



↑ 活動に積極的に参加いただいたファミリーマートインドネシア事務所の社員の方々

